（様式第３号）

企業・団体名（　　(有)グリーンランド信州　　）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）【R5.9.5変更】

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	農業と地域を担う人材を育成し、経験に関係なく風通しよく意見を出し合い、多様な人材が活躍している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	毎日の朝礼など、コミュニケーションの取れる環境があり、ハラスメント防止に心がけている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労働時間を明確にし、シフト制をとっており、働きすぎのないように防止している。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在は外国人労働者の雇用がなく、当面予定がない。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	朝礼にて日々の作業内容を確認し、2人以上の作業を原則として取組んでいる。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	朝礼にて、互いの健康やメンタルの状態をチェックし、業務に当たるようにしており、不調の場合は休ませるなど、状況に応じて即対応している。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	20代から70代までが働き、現在は女性が3割弱となっている。地産地消拠点づくりの新事業では、相応しい業務を創出し女性雇用を増やす検討をしている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	里親制度により新規就農者の育成に努めるとともに、大型免許や「家畜人工授精師」など必要な資格取得を会社負担で行っている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	性別にかかわらず、能力に応じた待遇としている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】今後の検討を進めていく。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	プラスチック等の廃棄物分別を行っているほか、牛糞由来の有機堆肥は県へ量の報告を行っている。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	燃料や電気代の把握を行っている。今後、太陽光発電の設置についても取組みを検討している。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	省エネ対策として、LED導入を行っている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	農薬等の有害化学物質について成分確認し、使用を低減するように、排除を心がけている。			3.9			6.3					11.6	12.4					

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	環境		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	有機堆肥の利用を増やすことで、生物多様性と水質保全に取組んでいる。						6.6									15		
16	環境		【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	牛糞を廃棄物とせず、堆肥化を行うことで、牛糞由来の有機堆肥として、自社や近隣農家等での使用につなげている。												12.5		14.1			
17	環境		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	換気やミスト噴霧により牛舎内の気温を下げる取組みにより、牛の消費量を減らす工夫をしている。						6.4 6.6											
18	環境		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	有機堆肥を利用し牧草等を育て飼料とする循環型農業に取組み、耕作放棄地の解消にも努めている。環境マネジメント規格の取得については今後検討する。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	環境		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	有機堆肥を利用し牧草等を育て飼料とする循環型農業に取組み、耕作放棄地の解消にも努めている。環境基本方針等の明文化を検討している。												12.6					
20	環境		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	地産地消拠点として新しく利用を始める地域施設において、太陽光パネルの設置を検討している。							7.2						13				
21	環境		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	有機堆肥を利用し牧草や水稲等を育て牛の飼料とする循環型農業に取組んでいる。また耕作放棄地の解消にも努めている。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	朝礼で日々の行動に問題がないか確認を行っている。																16 16.5	
23	公正な事業慣行		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	朝礼で日々の行動に問題がないか確認を行っている。																16	
24	公正な事業慣行		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	周辺の畜産農家と、上伊那「おもてなし」牛乳の品質維持に努めている。また地産地消の新事業は、箕輪町や関連団体とも連携して地域ブランド作りに取組む。								8.2 8.3	9								
25	公正な事業慣行		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	朝礼で日々の行動に問題がないか確認を行っている。地産地消の新事業立上げに合わせて、情報管理ルールの整備を進める。																16	
26	公正な事業慣行		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物の取扱いはない。																16	
27	公正な事業慣行		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先からの要請はないものの、独自にSDGs宣言し、また県の推進企業登録を行うことで、関係者との適切な関係の構築に努める。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	公正な事業慣行		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】今後の検討を進めていく。			3					8	9	10							17

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。https://www.biz-partnership.jp/

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	ポジティブリストに準拠するとともに、集乳時のチェックや、ジェラート成分チェックを行い品質と安全性の確保に努めている。			3.9									12.4					
30			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	グループの白樺牧場と連携し、牛にストレスのない生育環境と地産飼料により、安全性と品質、美味しさの追求に取組んでいる。									9								
31			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	地産地消の新事業を計画しており、環境負荷軽減に取組む。						6						12	13	14	15		
32			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	循環型農業により、耕作放棄地の解消と地産飼料の利用強化につなげ、農業を通じた地域づくりに取組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	循環型農業において、里親制度を使った新規就農者育成や地元雇用を通して、農業や地域を担う人材の育成に取組んでいる。				4					9		11	12		14	15		17
34			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	食育や体験実習により、未来を担う子どもたちが地域社会や農業について学ぶ機会を提供している。				4							11			14	15		17
35			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	循環型農業により、地産飼料の利用を行うとともに、新たに地産地消の新事業立上げを行う計画である。								8	9		11	12	13				
36	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	朝礼において、適時情報共有に努めている。								8	9								17
37			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	朝礼において、適時情報共有に努めている。																16	
38			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	代表の区長や農業委員としての実働などを踏まえて、外部との円滑なコミュニケーションを実現し、クレーム等に対応できる連絡体制を構築している。																16	
39			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	代表を中心として、外部との円滑なコミュニケーションを実現し、対応している。																16	17
40			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	牛トレーサビリティ制度を順守し、対応している。																16	
41			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	地域の水保全や防災防火やボランティア活動など、CSRに基いた企業活動に取組んでいる。また従業員には積極的に地域活動への参加を促している。																16	
42			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	地域の「防災の日」訓練への参加や、防災マップの事業所内掲示を行っている。また地産地消拠点では、自治体等と連携し、防災備蓄に対応する計画がある、									9		11		13 13.1			16	
43			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	家族内承継として、農業経営などにも実際に携わり、円滑な事業承継に向けて準備している。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、ＮＡＧＡＮＯものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件２」は、ISO26000（※１）、RBA（Responsible Business Alliance）（※２）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、　間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※１…組織の社会的責任に関する国際規格　　※２…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定